

合宿の里わっかない



伊達緑丘高校サッカー部



神奈川大学女子バスケットボール部クリニック



法政大学バスケットボール部

スポーツの振興と地域の活性化を図る目的で発足した、稚内市スポーツ合宿誘致推進協議会も発足8年目を迎えました。昨年度インカレ3位の白鷗大学バスケット部やベスト8の関西学院大学バスケット部など、8月までに道内外から剣道・野球・バスケットボール・サッカー・バレーボール・スノーボード・スキー7種目32団体779人(延べ宿泊数4,183人)が合宿に訪れました。合宿期間中、大学及び高校の指導者により少年団員及び中、高生にバスケットボールやバレーボールの講習会を開催していただきました。子供たちも指導者から基礎練習の方法など学び、今後の競技力向上にも繋がっております。

8月5日の「みなと南極まつり」には恵庭南、札幌東商業、虻田、岩見沢緑陵、中標津高校女子バレーボール部、神奈川大学女子バスケットボール部の6チーム120人が「南極おどり」に参加し、最北の夏と市民との交流を楽しんでいました。

また、多くの団体が練習のオフを利用して市内観光を楽しんだり、飲食店で昼食をとった後、お土産店で買い物する姿も見られました。

今後は、9月に道内の大学バスケットボール部やバレーボール部、年明けには道内の高校野球部や大学卓球部、道外の大学バスケットボール部が来宿する予定となっています。



東京農業大学競技スキー部



大阪学院大学バスケットボール部



南極おどりの

平成29年度友好都市スポーツ交流 最南端の夏の思い出



稚内市の友好都市である沖縄県石垣市とのスポーツ交流は、今年はバレーボール少年団から12名と引率者を合わせて16名を石垣市へ派遣しました。

真夏の石垣市ではキャンプや海水浴を楽しみ、メインイベントのバレーボール交流試合では石垣市の受入団員と一緒にバレーボールを楽しみながらも全力でプレーしました。台風の影響で当初の予定が変更になる一幕もありましたが、大きな怪我もなく無事に6泊7日の交流を終えることができました。

自然の家から主催事業のお知らせ

●わんぱくチャレンジ秋「小さい秋見つけよう」

期 日：9月23日(土) 9:30～15:00
場 所：稚内市少年自然の家
対 象：小学校1年生から4年生まで50名
参加費：500円
内 容：

焼きイモ作り、
遊びリンピック



昨年の焼きイモ作り

体協直営売店コーナー案内!!

利用者へのサービスとともに、収益金を競技力向上や少年団の運営に役立てております。総合体育館ロビーとホールにおいて、体協直営の収益事業を行っております。ぜひ皆様のご利用をお待ちしております。

- 1階ホール プロスポーツグッズコーナー
【北海道コンサドーレ札幌】 Tシャツ・タオル・文房具
【レバンガ北海道】 Tシャツ・キャップ
【北海道日本ハムファイターズ】 Tシャツ・レプリカユニフォーム
- 1階ロビー 軽食喫茶コーナー「HOTほっと」

メニュー例	ピラフ・チキンライス	400円
	カレーライス	450円
	中華丼	500円
	ラーメン・スパゲティ	400円
	ホットコーヒー	200円

※この他にもたくさんのメニューを用意し、ご利用をお待ちしています。



■亭(と)おる
室蘭市内で小2から野球を始め、今でも現役でプレーしています。野球を通じて様々な体験をしたことが今の糧になっているし、そこで得た仲間は今でも宝物です。
子供達からも刺激を受けて、体の動くうちは現役で続けたいと思うこの頃です。

■妻・清子(きよこ)
仙台市内の中学校でソフトボールを始め高校まで6年間日焼けで真っ黒になりながら白球を追い続けました。
今は子供達の野球に日々奔走する毎日です。元氣な子供達の姿を見ること、これからの成長を夢みることが、今の生甲斐です。

■子・快(かい)
生活の中にあつた「野球」に触発されたのか、自然にボールを投げる打つを始め、小3から野球少年団に入団しました。毎日の練習では声がかかるまで声を出し、泥まみれで白球を追い、休みの日は暗くなるまでボールに触れています。
目標は「プロ野球選手」叶わなければ「新幹線の運転手」と意外と現実的です。

■子・克(かつぎ)
お兄ちゃんと共に自然と野球に触れ何となく野球を始めます。
お兄ちゃんの少年団の応援には毎回かけつけているが、応援しているのか遊んでいるのか……とにかく元氣一杯です!!

■亭さんからのコメント
元氣いっぱいには動き回る子供達を見ていて、親が元氣をもらっています。仲間と共に楽しいこと、嬉しいこと、苦しいこと、辛いこと、スポーツを通じてたくさん経験の積んでほしいです。そして、感謝の気持ちを持って目標に向かってみんなが一直線に向かってほしいです。

われらスポーツ家族の輪



えちごや とおる亭さん一家
41 越後屋

家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。
今号では、前号の「村上都紀則さん」から紹介のあった「越後屋亭さん一家」です。